

委員会の焦点

総務生活

27年度決算で、二千万円余の収入未済額

ごみを出す際に用いる「指定ごみ袋」について、市では袋代にごみ処理手数料を加えて販売していますが、袋を取り扱う業者は複数あり、この手数料分については市に納入することとなっています。

しかし、一業者が全額納入できなかったため、27年度決算において二千万円余の収入未済額（収入不足）が生じました。原因は、この業者が経営資金等に流用していたためとされています。

こうした中で、過去においても度々納入が遅延していたことを踏まえれば、市ももっと早期に対応し、収入未済額を減らすことができたのではないかと、事務処理のあり方が問われます。

市は、今後の法的な債務処理等の経過を見て対応するとしていますが、委員会では公金の取り扱い等について、厳格に対応するよう強く指摘しました。



ごみステーション

福祉教育

市民交流センター利用好調 他の自治体も注目！

老人クラブ・

ロマン大学などへの加入が低調であることが明らかになりました。

地域活性化のため必要という認識はあるものの、クラブ数の減少に歯止め

がかからず、役員

の負担増などの指摘がありました。

市民交流センターは利用者数も増えるとともに、全国からの自治体・図書館関係者の視察も増加しています。1階に展示している3Dプリンターの効用、書籍購入の選

書、蔵書の除籍、専門書の扱い、ブックスタート・セカンドブック事業、本の寺子屋の企画内容、図書館利用者の街への誘導、

北部拠点施設の図書館機能など、質疑が行われました。

このほかにも、本市の救急医療体制や広域分担金、AEDの配置、病院群輪番制など医療体制全般、奨学金問題、認知症などの介護認定、健康づくり、成年後見人制度、トレーニングプラザ利用状況などについて幅広く議論しました。



えんぱーく 塩尻市立図書館

産業建設

国道153号両小野バイパス 請願採択

27年度塩尻市一般会計の決算をはじめ、

農林・商工・土木等全般にわたって審査を行いました。また、「一般国道153号両小野バイパスの早期事業化に関する請願」の審査では請願者より、「国道153号は、中京圏と長野県中信地域を結ぶ重要な幹線道路でありながら、冬期の積雪や凍結などに起因する交通障害により、住民生活や物流に大きな影響を及ぼしている。しかし、辰野町から塩尻市までの区間は、道路改良が進展しておらず、両小野バイパスの早期事業化を要望する」との説明がありました。委員

から「北小野地区の議会報告会で、地元の方から家が揺れてしまう、事故が多い生活していく上でも大変危険であり安心安全が保てないという意見を頂いており、採

択すべし」との発言があり、全会一致で採択をすべきものとなりました。



通行止めになった善知鳥峠（国道153号）